

小規模事業者の経営実態に関するアンケート調査
(概 要)

平成24年 7月 30日

公益社団法人 全日本トラック協会

目 次

アンケート調査の実施概要	2
Ⅰ. 属性	3
Ⅱ. トラック事業を開始した経緯について	4
Ⅲ. 取引先について	6
Ⅳ. 現在のトラック事業の状況について	7
Ⅴ. 5両割れの事業者について	9

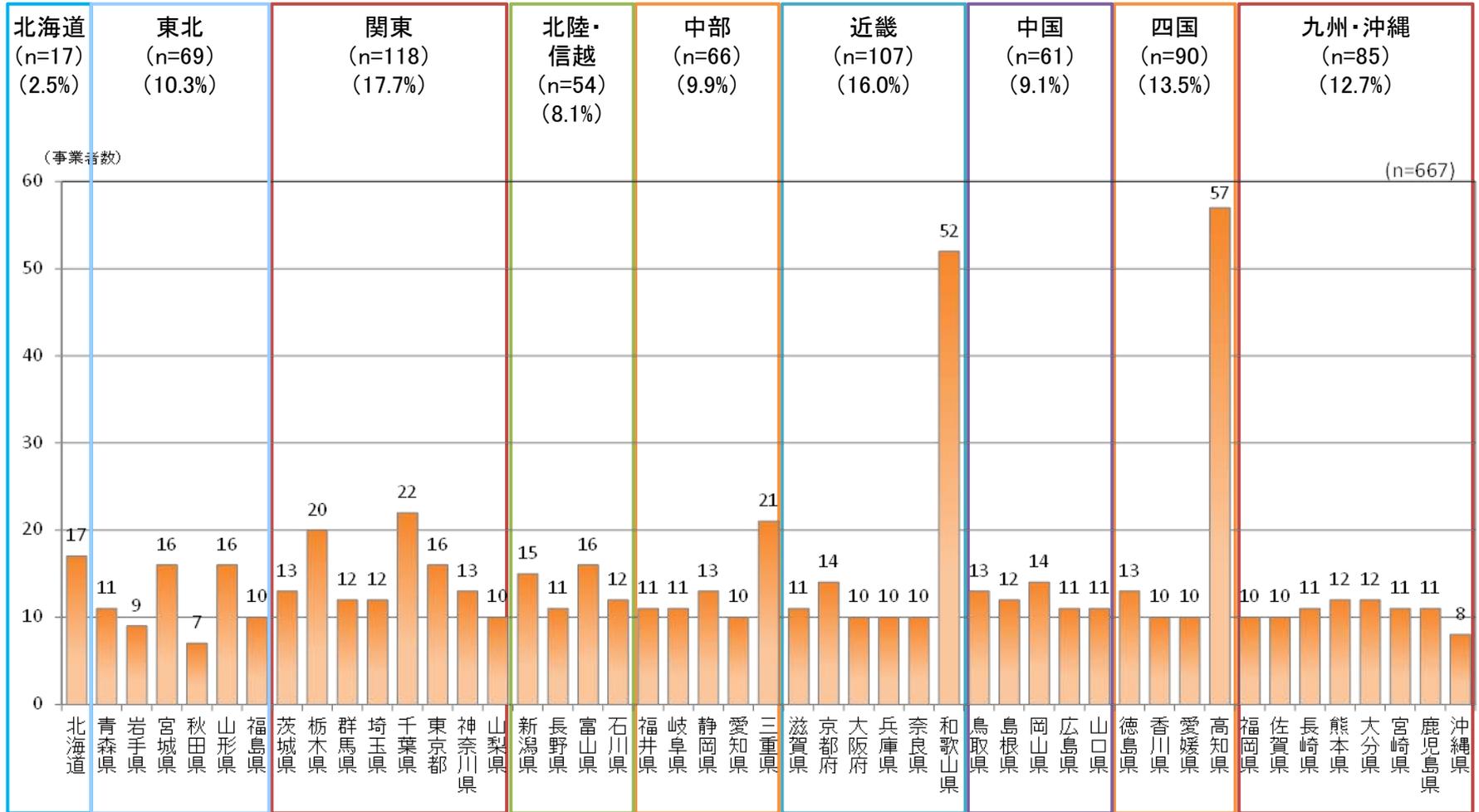
アンケート調査の実施概要

調査の目的	<ul style="list-style-type: none">・本調査は、今後のトラック産業のあり方の検討に向けた基礎資料として、小規模事業者のトラック事業経営の実態に関するデータを収集することを目的として、調査するものである。
調査対象	<ul style="list-style-type: none">・各都道府県のトラック協会において把握されている小規模事業者を対象に、調査を実施している。
回収数	<ul style="list-style-type: none">・667事業者
調査期間	<ul style="list-style-type: none">・平成24年3月
調査方法	<ul style="list-style-type: none">・都道府県トラック協会において把握されている小規模事業者を対象に調査の依頼をし、事業者ごとに担当者が訪問し、聞き取り調査を実施している。
分析の留意点	<ul style="list-style-type: none">・複数回答の質問は、無回答を除いて集計している。・百分比は、小数点第2位で四捨五入して、小数点第1位までを表示している。四捨五入しているため、合計値が100%を前後することがある。

I. 属性

回答者の地域的な分布状況(都道府県)

○回収数は667サンプルであり、以下は地域別の回収状況を示したものである。



Ⅱ. トラック事業を開始した経緯について

トラック事業を始めた動機／社長が従事する業務

(全員／複数回答)

質問: トラック事業を始めた動機をお聞かせ下さい。

○トラック事業を始めた動機として、「自営転換」(34.2%)、「親、親戚等が運送会社を経営していたから」(31.6%)であり、全体の3分の1前後を占めている。

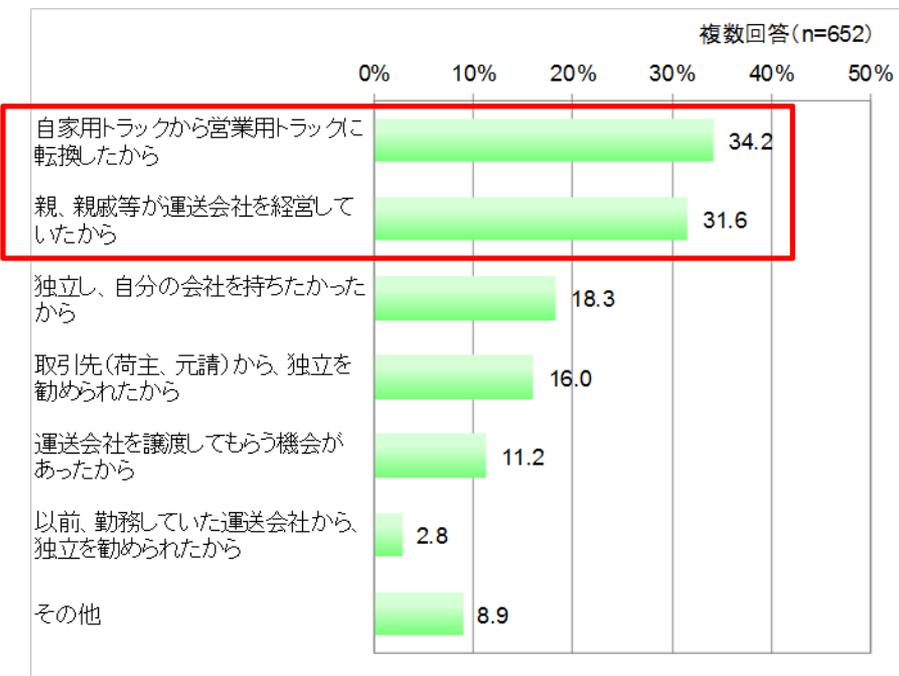
(全員／複数回答)

質問: 社長は、会社経営のほかにもどのような業務を行っていますか。

○小規模事業者の社長が従事する業務として、取引先開拓等の営業が61.4%と最も多い。

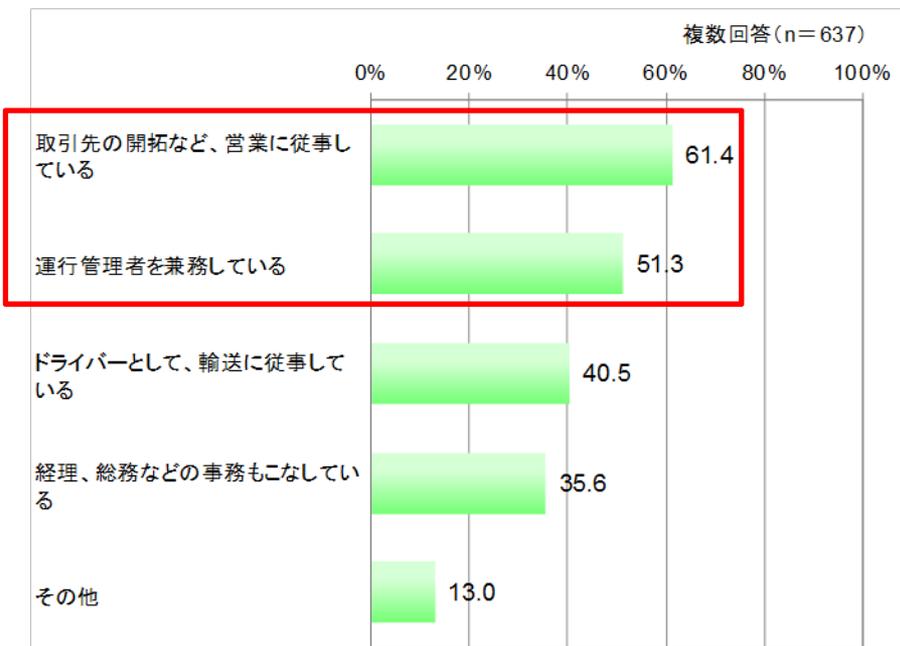
○上記以外の業務として、「運行管理者を兼務」(51.3%)、「ドライバーを兼務」(40.5%)、「経理・総務業務を兼務」(35.6%)となっており、社長の兼務業務が幅広いことが考察される。

トラック事業を始めた動機



※無回答を除く

社長が従事する業務



※無回答を除く

トラック事業以外の収益事業の状況／事業全体のトラック事業の位置づけ

(全員／単数回答)

質問: 現在、トラック事業以外に、収益(売上)のある事業(他の事業)はありますか。

○トラック事業以外に収益を生み出す事業が「ある」と回答している事業者は44.7%であり、他事業を兼業しているケースが多いことが考察される。

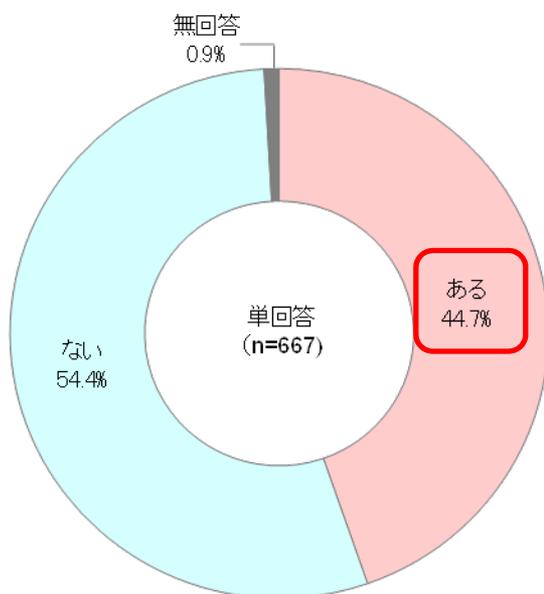
(「トラック事業以外の収益のある事業の有無」で「ある」と回答した者のみ／単数回答)

質問: トラック事業の収入を他の事業と比較すると、どのような位置づけですか。

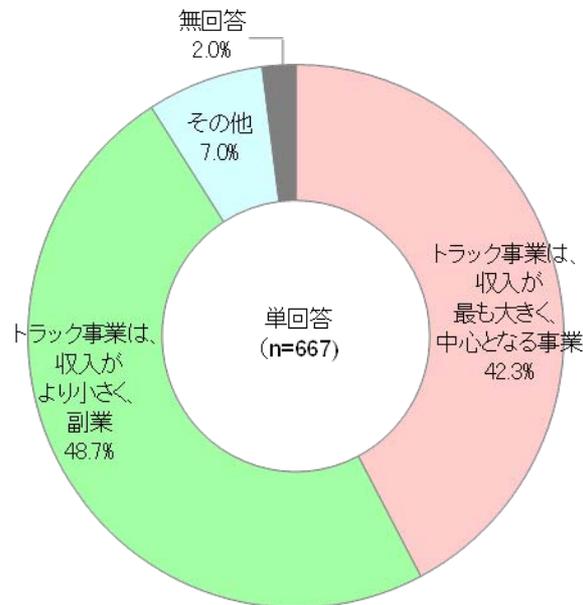
■「トラック事業以外の収益のある事業」が「ある」と回答した事業者に質問した。

○会社の事業全体におけるトラック事業の位置づけとして、「トラック事業の収入が最も大きく中心とする事業」とする回答は42.3%、「トラック事業は収入が小さく副業」とする回答は48.7%と副業とする回答の方が多く、それぞれ40%以上となっている。

トラック事業以外の収益事業の状況



事業全体のトラック事業の位置づけ



Ⅲ. 取引先について

取引先の状況／運賃決定の状況

(全員／複数回答)

質問: 現在の取引先は、どのような状況ですか。

○小規模事業者の場合、一般的に「真荷主との直取引はなく、下請中心」と言われているが、本調査では真荷主との直取引があるのは67.6%であり、取引類型別には荷主取引が最も多い。これは他の調査を実施しても常に同様の傾向を示している。つまり、小規模事業者は、荷主の取引先数は、少ないものの、小規模経営でも事業継続できるような荷主の取引先を確保していることが考察される。

○逆に、運賃水準が低い、水屋等の利用運送事業者との取引は取引先3類型中、最も少なくなっている。

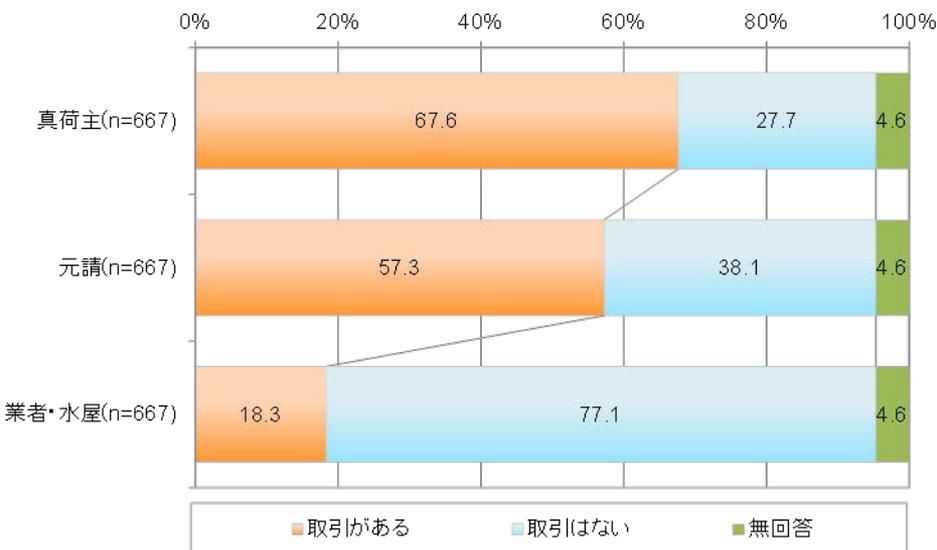
(全員／複数回答)

質問: 取引先との運賃決定について、お聞きします。

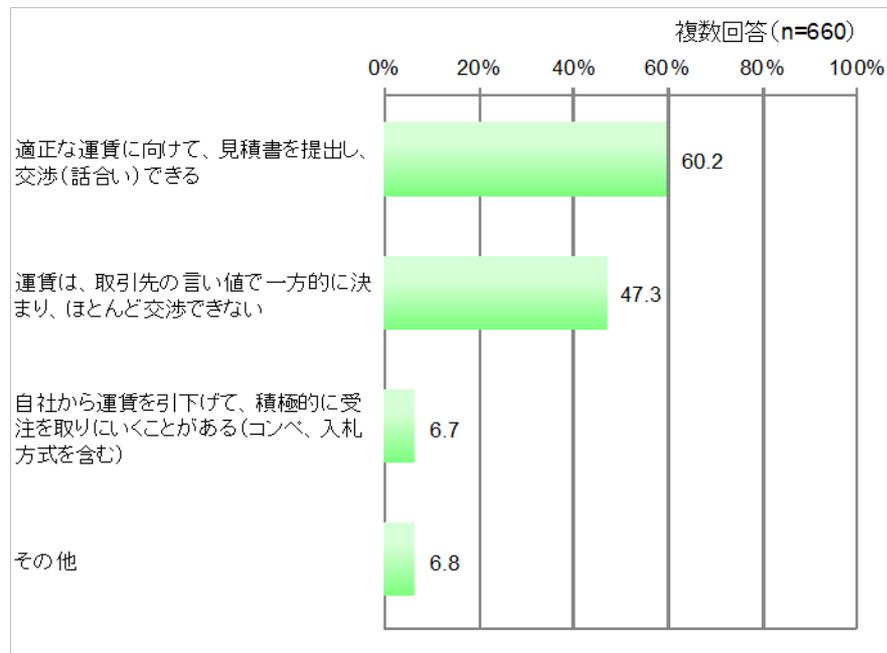
○小規模事業者は、「交渉力がなく低水準の運賃を押しつけられている」、または「低い運賃でダンピングして取扱貨物を確保している」というイメージが強いが、実態は相違する可能性が高い。

○本調査では「適正な運賃に向けて見積書を提出し交渉(話し合い)できる」(60.2%)が最も多く、「自社から運賃を引き下げて、積極的に受注を取りにいけることがある」(6.7%)が最も少ない。

取引先の状況



運賃決定の状況



※無回答を除く

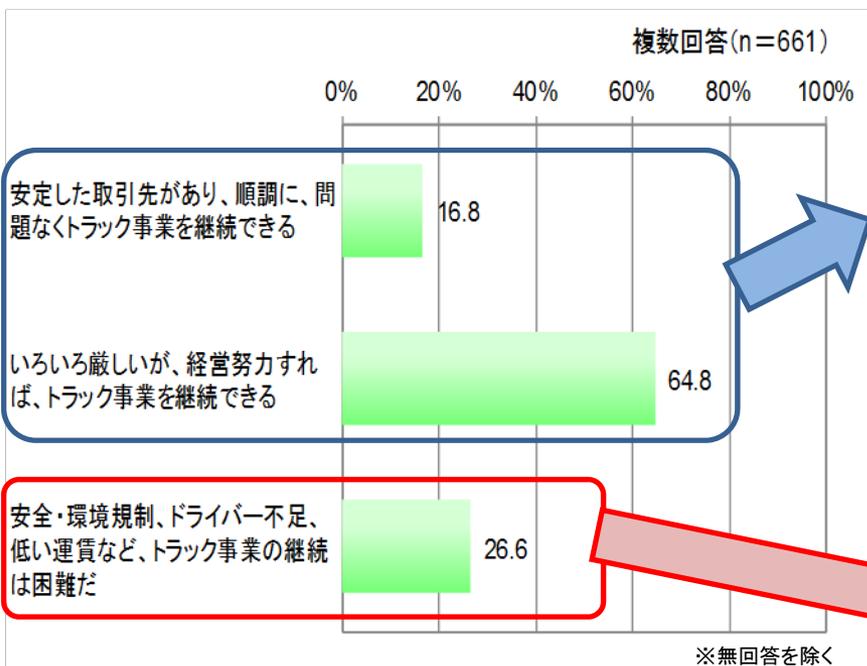
IV. 現在のトラック事業の状況について

トラック事業の現況／規模拡大の意向／国・協会への要望／トラック事業の継続が困難な理由

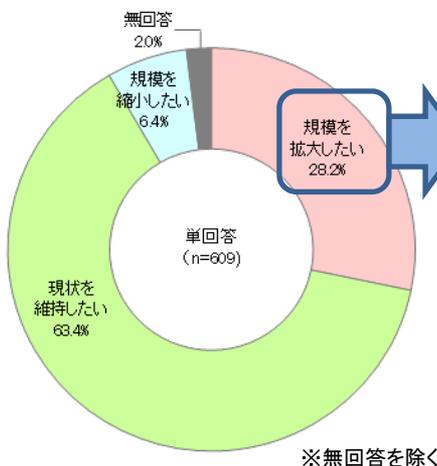
(全員／複数回答)

質問: 現在、トラック事業はどのような状況ですか。

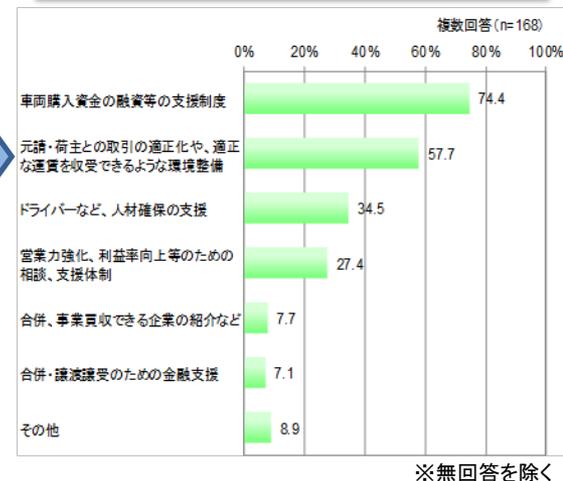
トラック事業の現況



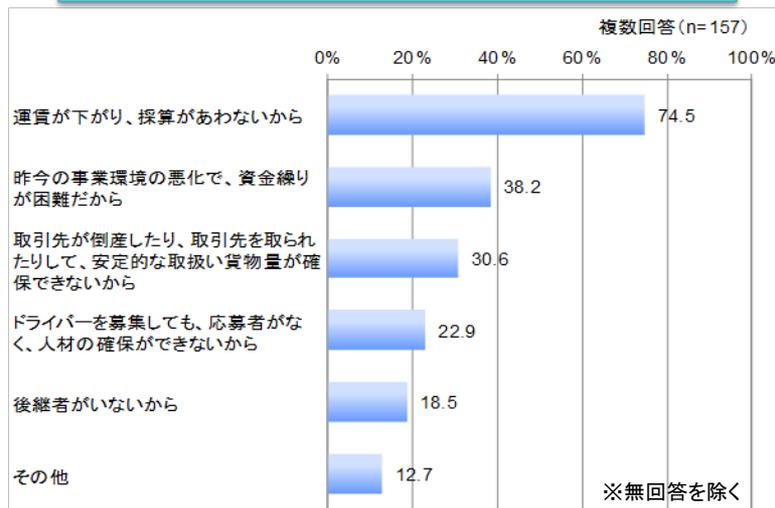
規模拡大の意向



国、協会への要望

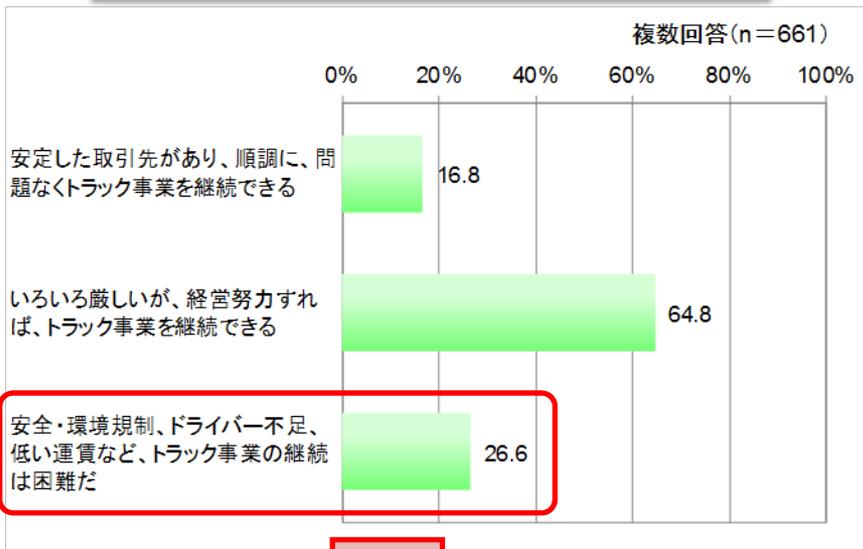


トラック事業の継続が困難な理由

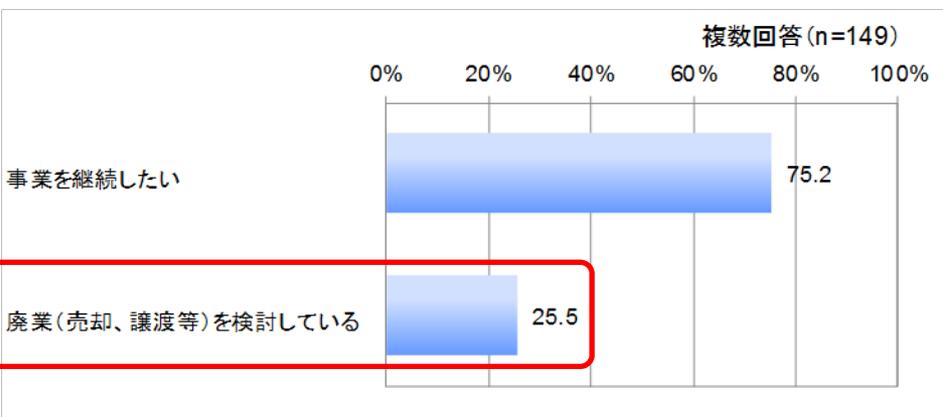


トラック事業の継続が困難な事業者における 廃業(売却、譲渡等)検討の有無／廃業を行う場合の問題点／望まれる支援策

(8ページ再掲資料) トラック事業の現況

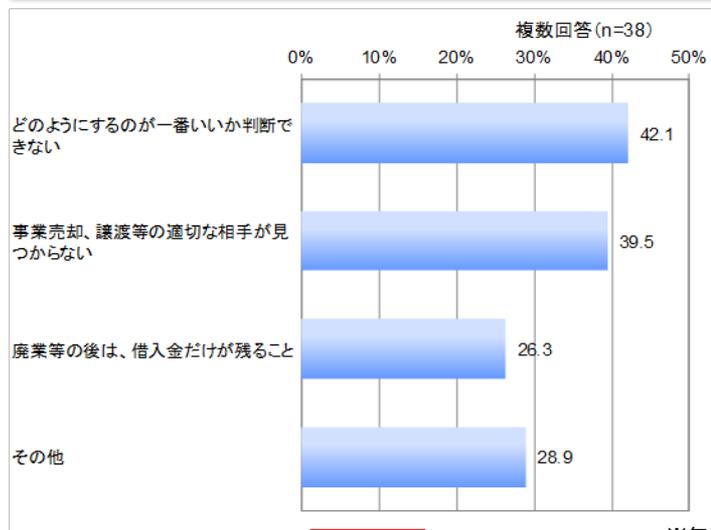


廃業(売却、譲渡等)検討の有無



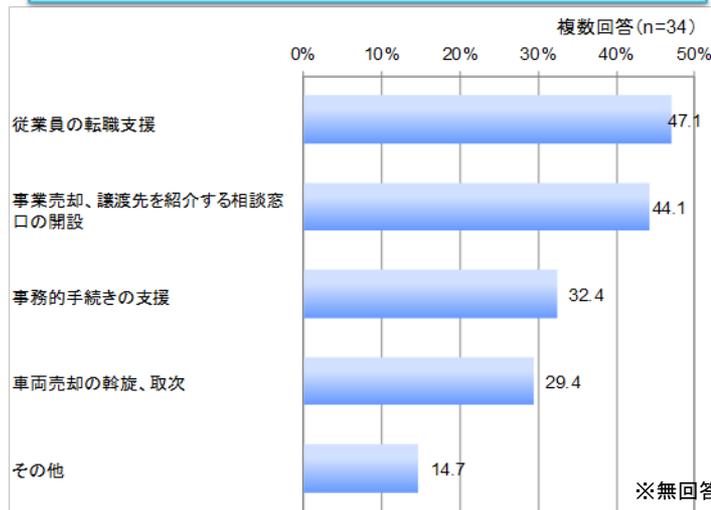
※無回答を除く

廃業(売却、譲渡等)を行う場合の問題点



※無回答を除く

望まれる支援策



※無回答を除く

V. 5両割れの事業者について

保有車両台数が「4両以下」となった時期／運行管理者の有無

(5両割れの事業者のみ回答)

質問: 現在の車両保有台数が4両以下の状態になっているのは、いつ頃からですか。

■ 保有車両台数5両割れの事業者のみを対象に質問した。

○ 保有車両台数が5両割れとなった時期として、「2006年～2012年」が41.4%と最も多い。

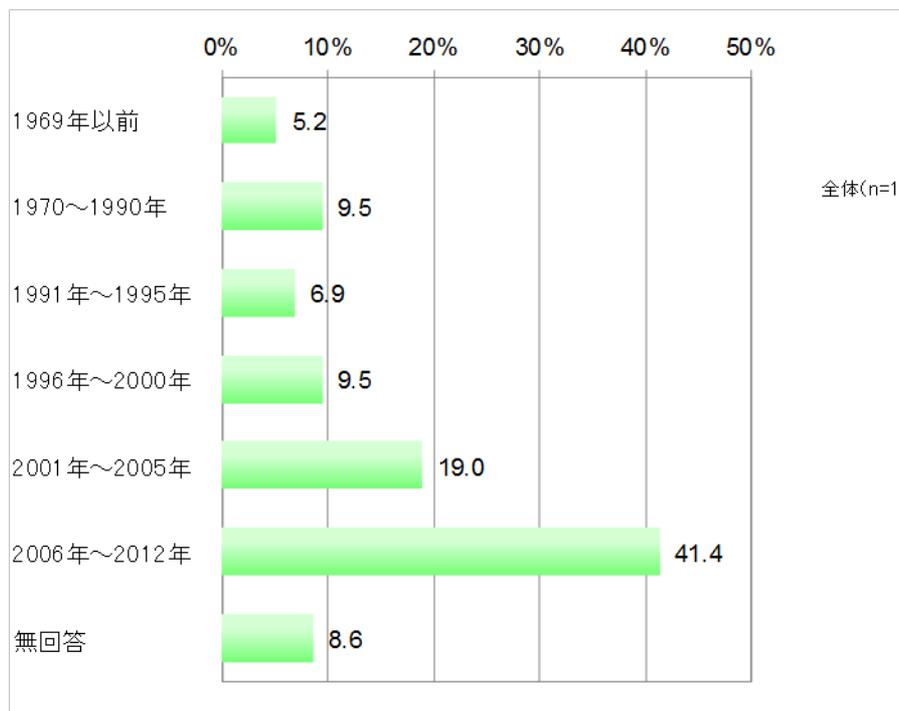
(5両割れの事業者のみ／単数回答)

質問: 現在、運行管理者はいますか。

■ 保有車両台数5両割れの事業者のみを対象に質問した。

○ 運行管理者を配置していない事業者は、116サンプル中で8.6%となっている。

保有車両台数が「4両以下」となった時期



運行管理者の有無

